

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	歴史博物館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法 博物館法 文化観光推進法
			10	04	05	03	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	市民の関与	
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館	
②ふるさと教育の推進						資料担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
市の歴史、文化に関わる事柄の調査研究や各種史料の収集、保存、整理、調査研究などを推進すると共に、それらを展示や講演会、講座等という形で情報発信することで、市民には郷土に誇りと愛着を持つ心を、市外の方には本市に興味と関心を持つ心を育てる。	文化財保護事業 埋蔵文化財事業 富士見塚古墳公園管理運営事業 帆引き船保存活用対策事業	
【期待される効果】	【対象者】	
地域の歴史や文化にふれることで、郷土への愛着や誇りを感じることができる。その心情は、かすみがうら市の居住人口や交流人口を増加させる要因にもなる。	市民及び来館者全般	
【全体概要】	【特記事項】	
市の歴史、文化に関する資料等の収集、整理保存、調査研究及びその公開並びに歴史博物館の管理運営。	文化観光推進法と歩崎アクションプラン、かすみがうら市文化財保存活用地域計画とに基づき、かすみがうら市の情報発信の拠点整備として、博物館の総合的リニューアルを検討していく。博物館等を中核とした文化クラスター推進補助金と国庫地方創生推進交付金などを活用していく。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。歴史博物館の修繕。	特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。歴史博物館の修繕。	

■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	5,226	4,317	0
	歳入計（千円）	5,226	4,317	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 報償費	1,266	1,233	0
	08 旅費	27	70	0
	10 需用費	2,332	1,990	0
	11 役務費	168	484	0
	12 委託料	1,037	122	0
	13 使用料及び賃借料	396	418	0
歳出計（千円）（A）	5,226	4,317	0	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸比率(%) 決 皆減 予 皆減	
職員人工数	1.20	1.20	0.00	
職員人件費（B）	9,339	9,339	0	
総事業費（A）＋（B）	14,565	13,656	0	

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	特別展、企画展の回数	回	目標	10.00	3.00	0.00
	特別展、企画展及びそれに付随する催し、出版など		実績	10.00	9.00	0.00
	ふるさと教育に関する講座数	回	目標	16.00	16.00	0.00
	令和元年度実績 18講座		実績	19.00	35.00	0.00
成果指標	歴史博物館の年間入館者数	人	目標	12,000.00	12,000.00	0.00
	令和元年度実績 11,555人		実績	8,385.00	9,463.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、ふるさと教育の推進を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の歴史や文化等の情報発信を行うことは重要である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 登録博物館となったことにより、文化庁の補助メニューが増加した。今後、補助金を活用しながら、さらなる運営の充実を図ることが重要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 これまでの収集資料や研究成果などが無駄になってしまい、市民の郷土へお愛着や誇りが醸成されなくなり、ふるさと教育の推進が衰退する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 歴史博物館のみが、多くの考古・歴史・民俗などの郷土資料を収集保管、展示公開する業務を行っているため、他に類似する事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 施設の老朽化による維持管理費の増加、バリアフリーや多言語対応、登録博物館としての機能充実のためのリニューアルの必要性があるため事業費の削減はできない。一方で、市民学芸員(ボランティア)の協力を多大に受けているので、人件費の削減もできない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 入館者から入館料、受講生から受講料を徴収しているため、適正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の老朽化 (S62開館)、県指定文化財の風返稲荷山古墳の国指定化に伴う保存・展示の環境整備、帆引き船の国選択無形民俗文化財の活用、インバウンド対応など早急に大規模改修を行う必要がある。歩崎アクションプランと合わせ、魅力ある市の情報発信拠点として博物館リニューアルを計画していく必要がある。
	1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 生涯学習課長 齋藤 健 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 歴史博物館はその使命・目的を十分に全うするため、文化財保存活用地域計画を定め、施設の大規模改修等を計画する。	
	2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 教育部長 坂本 重男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 歴史博物館はその使命・目的を十分に全うするため、文化財保存活用地域計画を定め、施設の大規模改修等を計画する。	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	ジオパーク推進事業（政策）						事業類型	負担金	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			10	04	05	05	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	市民の関与	
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館	
④観光との連携						ジオパーク推進担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 地域に住む人が地域の価値を再発見し、愛着を持ち、地域を好きになることに始まり、さらに訪れる方々にその価値を理解していただくことで、みんなに愛される地域づくりを目指す。	【関連事業】 埋蔵文化財保護事業 歴史博物館管理運営事業 富士見塚古墳公園管理運営事業	
【期待される効果】 みんなに愛される地域づくりをすることにより、地域活性化、地域のブランド力向上、イメージアップの効果が期待される。	【対象者】 市民 市来訪者	
【全体概要】 ジオパークを理解するための取組、守るための取組、触れ合うための取組、つなぐための取組、続けるための取組を進めていく。	【特記事項】 つくば市・石岡市・笠間市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市から成る筑波山地域ジオパーク協議会として、6市で連携しながら推進していく。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
○筑波山地域ジオパークの普及啓発 ・ジオツアー実施 ・展示整備 ・啓発グッズ作成・小学校6年出前授業準備 ○ジオパークに関する講座、関東ブロック研修への参加	○筑波山地域ジオパークの普及啓発 ・ジオツアー実施 ・展示整備・案内ちらし作成・啓発グッズ作成 ・小学校6年出前授業実施 ○ジオパークに関する講座、全国大会・関東ブロック研修への参加	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	1,213	1,165	0
歳入計（千円）		1,213	1,165	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 報償費	10	58	0
	08 旅費	15	1	0
	10 需用費	738	386	0
	18 負担金、補助及び交付金	450	720	0
歳出計（千円）（A）		1,213	1,165	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		1.20	1.20	0.00
職員人件費（B）		9,339	9,339	0
総事業費（A）＋（B）		10,552	10,504	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	講座開催コマ数	回	目標	10.00	10.00	0.00
	ジオパークに関する講座の開催コマ数（ジオパーク基礎講座・ジオツアー等）		実績	8.00	20.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	講座参加者数	人	目標	150.00	150.00	0.00
	講座や催しの参加者数。		実績	140.00	422.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画において観光との連携を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 筑波山地域ジオパーク連絡協議会を構成するほかの5市と連携・協力を図り、市内外へ広く周知していくものである。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光、歴史、文化財に比較しジオパークはまだ認知度が低いので、広く周知することが重要となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 協議会を構成する6市で連携し事業を進めている。また、ジオサイト紹介・保存、SDGs、講座設定などで市民にPRしており、継続が必要となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光事業との統廃合・連携を踏むことにより、対外的に効果的な宣伝、周知ができる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 協議会のように専門員は配置されていないため、コストを下げれば効果を下げることにつながる。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 事業の対象は広く一般市民及び市来訪者である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入 6市で協議会を構成し、再認定審査結果を基本計画等に反映させ、活動強化を図っている。本市の地域活性化につながるよう、保全、教育、観光のサイクルが機能するようにジオパークを積極的に啓発してゆく。なお、本市以外の各市においては、観光資源や特産品に付加価値をつけることを主とする観光課が担当することが多く、ジオパークの魅力や情報を発信し商品発掘などを行っている
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策））	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：生涯学習課長 齋藤 健
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）	筑波山地域ジオパークを広く市民に普及・啓発しながら6市協議会と連携して市外からの交流人口を増やす。更に市内小学校の児童に対し出前講座にて郷土愛を育む。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性（改革・改善策））	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：教育部長 坂本 重男
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	筑波山地域ジオパークを広く市民に普及・啓発しながら6市協議会と連携して市外からの交流人口を増やす。更に市内小学校の児童に対し出前講座にて郷土愛を育む。